

NIPPON PIPE FITTING Corp.

ユビコ  
印 **SPフレキシシステム**



# スプリンクラー設備における 作業効率をアップ



スプリンクラー設備用に柔軟性を持たせた巻出し配管用フレキ。SPフレキシシステムは、多様なラインナップと優れた施工性・安全性でさまざまなスプリンクラー設備での作業性を向上させます。

## 適用範囲

商品名	認定番号	用途	フレキシブルチューブ 材質	最高 使用圧力	備考
SPフレキ R01(SUS304)	PJ-243-1号	湿式・乾式・予作動式・真空 <sup>※1</sup>	SUS304	1.4MPa	回転ニップルタイプ
SPフレキ R01(SUS316L)	PJ-243-1号	湿式・乾式・予作動式・真空 <sup>※1</sup>	SUS316L		回転ニップルタイプ
SPフレキ W01	PJ-248号	湿式・乾式・予作動式・真空 <sup>※1</sup>	SUS304		溶接タイプ
SP-W2フレジューサ	PJ-251号	湿式・真空	SUS316L		袋ネットタイプ
SP-Wフレジューサ	PJ-250号	湿式・乾式・予作動式・真空 <sup>※1</sup>			溶接タイプ
SP-フレジューサ(ブレードタイプ)	PJ-249号	湿式・真空			袋ネットタイプ

※1 乾式・予作動式は流水検知装置の二次側に用いる場合に適用

# 優れた施工性・安全性を備えた SPフレキ R01

スプリンクラー設備において施工性向上、安全性を実現する  
スプリンクラー巻出し配管用フレキが、業界初の性能を兼ね備えてラインナップ！

スプリンクラー巻出し配管用フレキ

## SPフレキ R01

SUS304

## 耐食性の高い SUS316Lタイプもラインナップ！

腐食に強いハイグレード材料「SUS316L」製のタイプも取り揃えております。

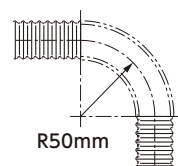
SUS316L

### 特長1

最小曲げ半径  
50<sup>※</sup>mm

業界一の最小曲げ半径で施工性を  
大幅にアップ

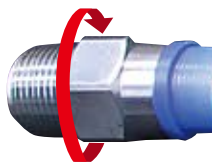
※フレキシブルチューブ  
中心からの曲げ半径



### 特長2

六角部を設けた  
回転ニップル式

六角部を設けた回転ニップルで、  
配管工事での施工の簡略化を実現



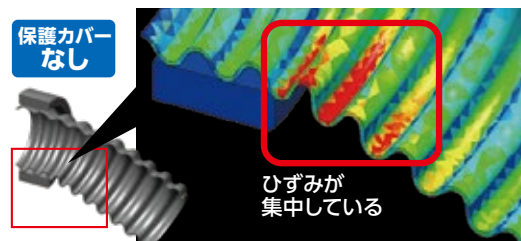
### 特長3

※際曲げは厳禁です。

保護カバー

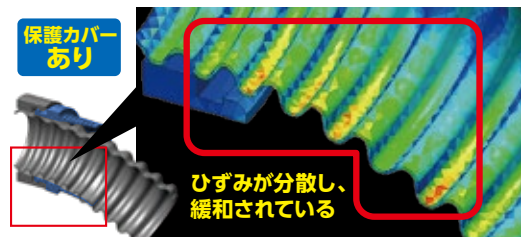
業界初の保護カバーの装着で  
際曲げ影響を大幅に軽減

保護カバー  
なし



ひずみが  
集中している

保護カバー  
あり



ひずみが分散し、  
緩和されている

# スプリンクラー巻出し配管用フレキ

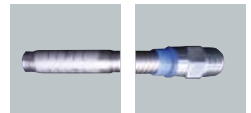
(一財)日本消防設備  
安全センター登録認定品

## SPフレキ R01 (SUS304)

### 通常タイプ



### 被覆タイプ 【受注生産品】



認定番号 PJ-243-1号

認定内容 スプリンクラー設備(湿式・乾式<sup>※1</sup>・予作動式<sup>※1</sup>)  
軽易耐熱性試験合格品

湿式

乾式<sup>※1</sup>

最高使用圧力  
1.4  
MPa

最小曲げ半径<sup>※2</sup>  
50  
mm

真空  
OK

※1 流水検知装置の二次側に用いる場合に適用

※2 フレキシブルチューブ中心からの曲げ半径

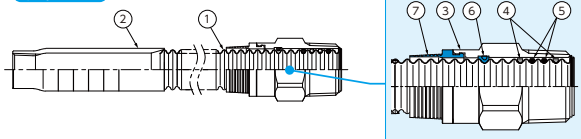
## 特長

- 業界初の保護カバー装着で、際曲げ影響を大幅に軽減<sup>※3</sup>
- 業界一の最小曲げ半径50<sup>※2</sup>mmで施工性UPを実現。また一次側に六角部を設けた回転ニップルを採用しており配管工事での施工の簡略化を実現
- 呼び長さ1000mm～4000mmまでの豊富な品揃えで被覆タイプのご要望にも対応可能

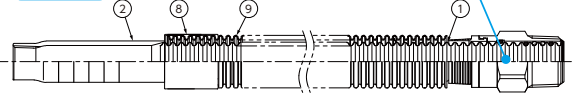
※3 際曲げは厳禁です

## 構造

### 通常タイプ



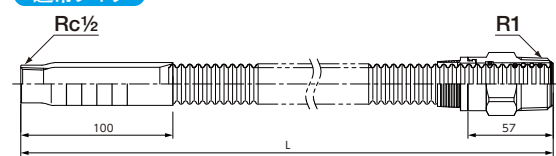
### 被覆タイプ



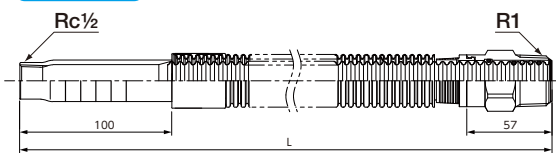
構成部品	材質
① フレキシブルチューブ	SUS304
② レジャーサ管	SUS304
③ 回転ニップル	炭素鋼
④ 樹脂リング	樹脂
⑤ Oリング	NBR
⑥ ストッパーリング	樹脂
⑦ 保護カバー	樹脂
⑧ キャップ	樹脂
⑨ CD管	樹脂

## 寸法 及び 等価管長・最大曲げ角度・箇所

### 通常タイプ



### 被覆タイプ



全長(L)(mm)	1000	1500	1950	2200	2800	3500	4000
等価管長 50L/分	6.5	7.5	9.5	10.5	11.5	13.5	14.5
管長 80L/分	7.5	8.5	10.5	11.5	13.5	15.5	17.5
最大曲げ角度	90度、4箇所						
最大曲げ箇所	(合計360度以内)						

※SGP 20A換算、最大屈曲形状中心R50/90°4箇所、申請値

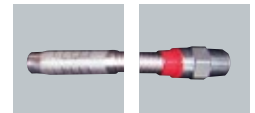
(一財)日本消防設備  
安全センター登録認定品

# SPフレキ R01 (SUS316L)

## 通常タイプ



## 被覆タイプ 【受注生産品】



認定番号 PJ-243-1号

認定内容 スプリンクラー設備(湿式・乾式<sup>※1</sup>・予作動式<sup>※1</sup>)  
軽易耐熱性試験合格品

湿式

乾式<sup>※1</sup>

最高使用圧力  
1.4  
MPa

最小曲げ半径<sup>※2</sup>  
50  
mm

真空  
OK

※1 流水検知装置の二次側に用いる場合に適用

※2 フレキシブルチューブ中心からの曲げ半径

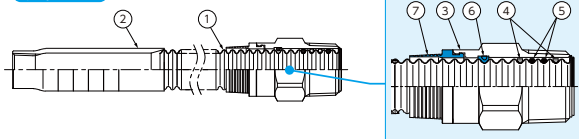
## 特長

<SPフレキ R01 (SUS304)の特長に、さらに下記特長を有するSUS316Lタイプ>

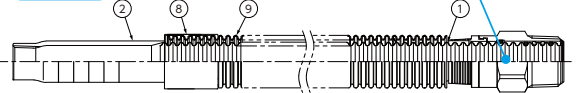
- ハイグレードな材料:SUS316Lでフレキ管を製造しているため、全面腐食はもちろん、孔食、隙間腐食等局部腐食についても耐食性が格段に高い

## 構造

通常タイプ



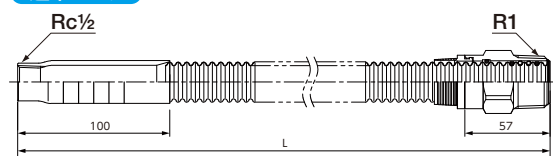
被覆タイプ



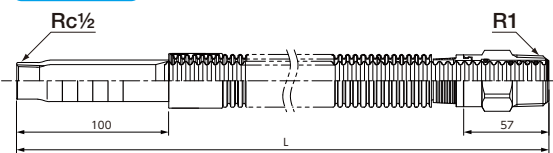
構成部品	材質
① フレキシブルチューブ	SUS316L
② レジューサ管	SUS304
③ 回転ニップル	炭素鋼
④ 樹脂リング	樹脂
⑤ Oリング	NBR
⑥ ストッパーリング	樹脂
⑦ 保護カバー	樹脂
⑧ キャップ	樹脂
⑨ CD管	樹脂

## 寸法 及び 等価管長・最大曲げ角度・箇所

通常タイプ



被覆タイプ



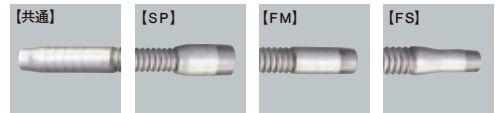
全長(L)(mm)	1000	1500	1950	2200	2800	3500	4000
等価管長(m)	6.5	7.5	9.5	10.5	11.5	13.5	14.5
流量 50L/分	6.5	7.5	9.5	10.5	11.5	13.5	14.5
流量 80L/分	7.5	8.5	10.5	11.5	13.5	15.5	17.5
最大曲げ角度	90度、4箇所 (合計360度以内)						
最大曲げ箇所	90度、4箇所 (合計360度以内)						

※SGP 20A換算、最大屈曲形状中心R50/90°4箇所、申請値

# スプリンクラー巻出し配管用フレキ

(一財)日本消防設備  
安全センター登録認定品

## SPフレキ W01



認定番号 PJ-248号

認定内容 スプリンクラー設備(湿式・乾式<sup>※1</sup>・予作動式<sup>※1</sup>)

※1 流水検知装置の二次側に用いる場合に適用

湿式

乾式<sup>※1</sup>

最高使用圧力  
1.4  
MPa

最小曲げ半径<sup>※2</sup>  
100  
mm

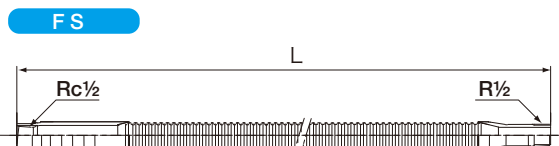
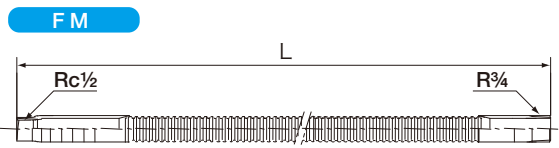
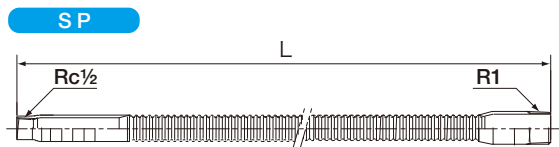
真空  
OK

※2 下記(最小曲げ半径について)を参照

### 特長

- スプリンクラー設備、泡消火設備に適用可能
- 豊富な品揃えで幅広い用途に対応
- オールワンピッチで抜群の施工性を実現

### 寸法 及び 等価管長・最大曲げ角度・箇所



#### <構成部品材質>

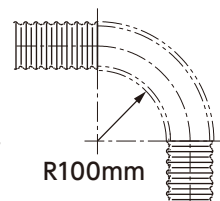
構成部品	材質
フレキシブルチューブ	SUS304
レギュレーサ管	SUS304
ソケット管	SUS304

全長(L)(mm)		600	1000	1500	1950	2200
等価管長(m)	SP	流量30L/分 5	7	9	10	11
		流量50L/分 5	7	9	11	12
		流量80L/分 6	8	10	12	13
FM		流量30L/分 6	7	9	10	12
		流量50L/分 6	7	9	11	12
		流量80L/分 7	8	10	12	13
FS		流量30L/分 6	8	9	11	12
		流量50L/分 6	8	9	11	12
		流量80L/分 7	9	10	12	13
最大曲げ角度		90度、1箇所 (合計90度以内)		90度、2箇所 (合計180度以内)		90度、4箇所 (合計360度以内)
最大曲げ箇所						

※SGP 20A相当、最大屈曲形状、申請値

#### <最小曲げ半径について>

※最小曲げ半径はフレキシブルチューブ内径側の外面からの半径です。



(一財)日本消防設備  
安全センター登録認定品

# SP-W2フレジューサ

## 通常タイプ



## 被覆タイプ 【受注生産品】



認定番号 PJ-251号

認定内容 スプリンクラー設備(湿式)

湿式

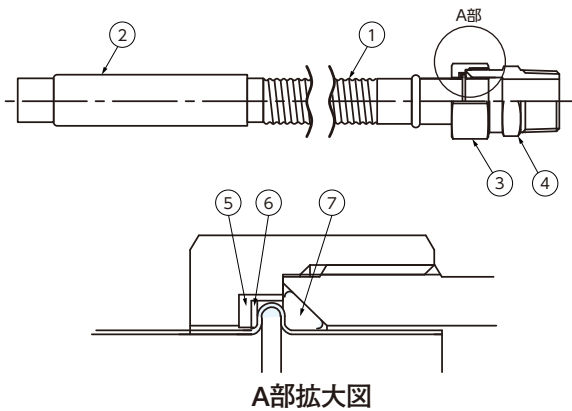
最高使用圧力  
1.4 MPa

最小曲げ半径  
※1  
100 mm

真空  
OK

※1 下記(最小曲げ半径について)を参照

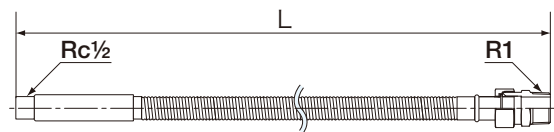
## 構造



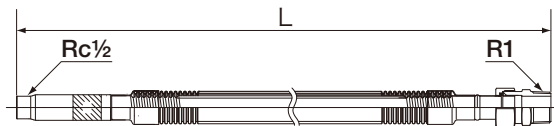
	構成部品	材質
①	フレキシブルチューブ	SUS316L
②	レジューサ管	SUS304L
③	袋ナット	炭素鋼
④	特殊ニップル	可鍛鋳鉄
⑤	絶縁リング	樹脂
⑥	補強リング	SUS304
⑦	Oリング	NBR

## 寸法 及び 等価管長・最大曲げ角度・箇所

### 通常タイプ



### 被覆タイプ

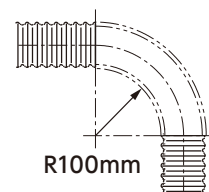


全長(L)(mm)	1000*	1500	2200	2800	3500	4000	
等価管長(m)	流量 50L/分	7	10	14	18	23	25
	流量 80L/分	8	12	18	21	26	29
最大曲げ角度	90度、2箇所 (合計180度以内)		90度、4箇所 (合計360度以内)				
最大曲げ箇所							

※1000Lは通常タイプのみ

### <最小曲げ半径について>

※最小曲げ半径は  
フレキシブルチューブ  
内径側の外面からの半径です。



## 取付部材

### SP 特殊ニップル

※ P-W2フレジューサに  
同梱されています。

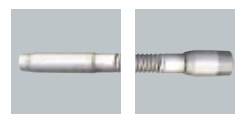
NNI-50



# スプリンクラー巻出し配管用フレキ

(一財)日本消防設備  
安全センター登録認定品

## SP-Wレジューサ



認定番号 PJ-250号

認定内容 スプリンクラー設備(湿式・乾式<sup>※1</sup>・予作動式<sup>※1</sup>)

※1 流水検知装置の二次側に用いる場合に適用

湿式

乾式<sup>※1</sup>

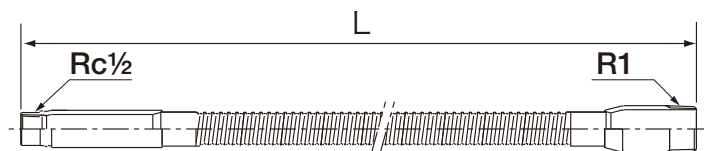
最高使用圧力  
1.4 MPa

最小曲げ半径<sup>※2</sup>  
100 mm

真空  
OK

※2 下記(最小曲げ半径について)を参照

### 寸法 及び 等価管長・最大曲げ角度・箇所



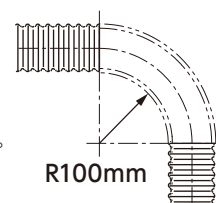
全長(L) (mm)		1000	1500	
等価管長(m)	SP	流量30L/分	5	7
		流量35L/分	6	8
		流量50L/分	7	10
		流量80L/分	9	12
最大曲げ角度 最大曲げ箇所		90度、2箇所 (合計180度以内)		

#### <構成部品材質>

構成部品	材質
フレキシブルチューブ	SUS316L
レジューサ管	SUS304L
ソケット管	SUS304L

#### <最小曲げ半径について>

※最小曲げ半径は  
フレキシブルチューブ  
内径側の外面からの半径です。





(一財)日本消防設備  
安全センター登録認定品

# SP-フレジューサ(ブレードタイプ)



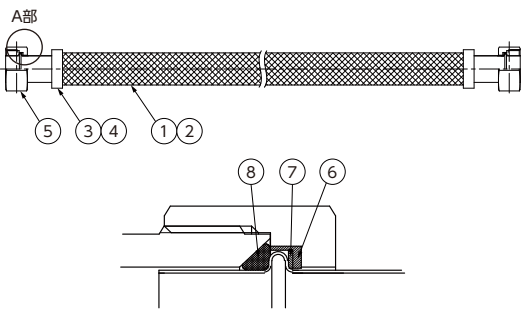
認定番号 PJ-249号

認定内容 スプリンクラー設備(湿式)

湿式 最高使用圧力 1.4 MPa 最小曲げ半径 100 mm ※1 真空 OK

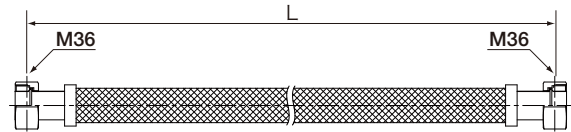
※1 下記(最小曲げ半径について)を参照

## 構造



構成部品	材質
① ブレード	SUS304
② フレキシブルチューブ	SUS316L
③ 外リング	機械構造用炭素鋼鋼管
④ 内リング	機械構造用炭素鋼鋼管
⑤ 袋ナット	炭素鋼
⑥ 絶縁リング	樹脂
⑦ 補強リング	SUS304
⑧ Oリング	NBR
SPバンド	SGP
SP特殊ニップル	可鍛鋳鉄

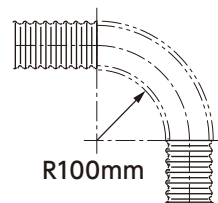
## 寸法 及び 等価管長・最大曲げ角度・箇所



全長(L)(mm)	600	1000	1500	2200	2800	3500
等価管長(m)	7	14	18.5	21.5	24	28
最大曲げ角度及び巻き数	90度、1箇所 (合計90度以内)	360度、1重巻き、1箇所 (合計360度以内)	360度、2重巻き、2箇所 (合計720度以内)			
最大曲げ箇所						

### <最小曲げ半径について>

※最小曲げ半径はフレキシブルチューブ内径側の外面からの半径です。



## 取付部材

### SPバンド

※ 別売です。

NSP-90

M36

Rc1/2



### 特殊ニップル

※ 別売です。

NNI-50

M36

R1



# 多口継手

(一財)日本消防設備  
安全センター登録認定品

## SP分岐継手

認定番号 PJ-253号

認定内容 スプリンクラー設備(湿式・乾式<sup>※1</sup>)

※1 流水検知装置の二次側に用いる場合に適用

湿式

乾式<sup>※1</sup>

最高使用圧力  
1.4  
MPa

真空  
OK

スプリンクラー配管は、末端へ行くにつれて、無数に分岐されていきます。  
「SP分岐継手」は、そんなスプリンクラー巻出し配管の分岐部に使われる継手で、簡単に3～6箇所に分岐することができ、従来工法だけでなく、さまざまな工法に対応でき、施工性に優れています。

### 特長

- 充実のラインナップでさまざまな工法に対応
- 抜群の施工性を実現

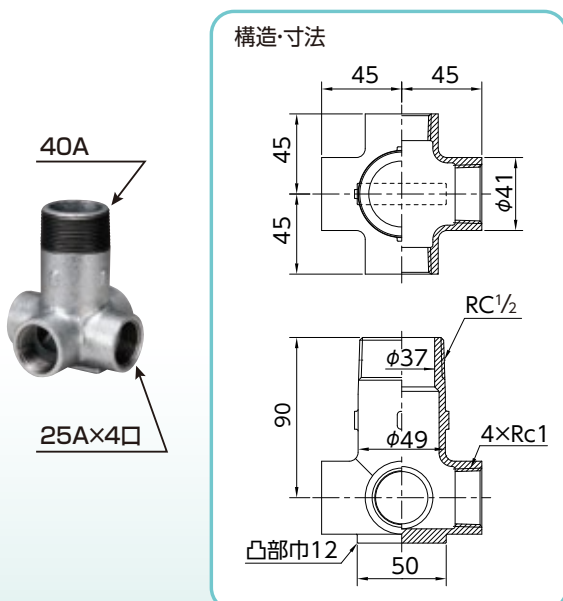
### 性能概要

材質 : 可鍛鑄鉄  
用途 : ねじ込み式…湿式配管及び乾式配管  
最高使用圧力 : 1.4MPa

### 製品ラインナップ

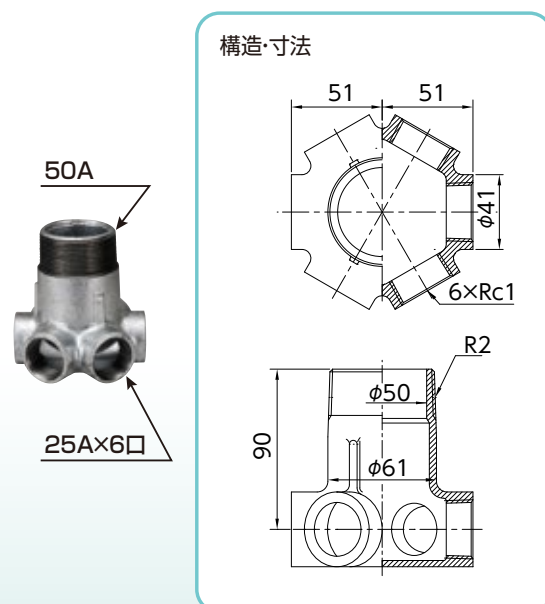
J-SP-NJ-4

40A×25A×4口



J-SP-NJ-6

50A×25A×6口



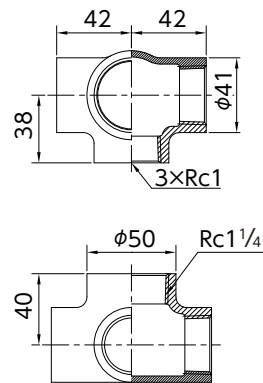
## 製品ラインナップ

J-SP-NJ-RC-3

32A×25A×3□



構造・寸法

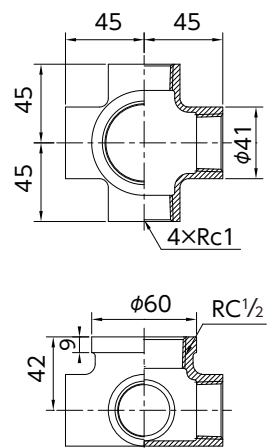


J-SP-NJ-RC-4

40A×25A×4□



構造・寸法

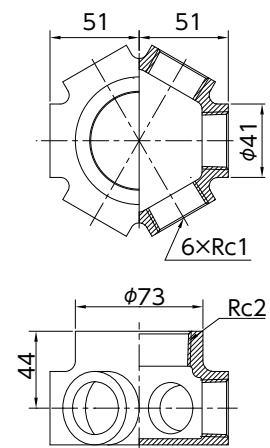


J-SP-NJ-RC-6

50A×25A×6□



構造・寸法



### 取扱いにあたっての注意

#### ① スプリンクラーヘッドの取付合計数

六方分岐継手の場合… 10個以下  
三方分岐継手の場合… 3個以下

四方分岐継手の場合… 5個以下

#### ② 継手の自重や振動が配管に加わらないように支持して下さい。

# その他部材

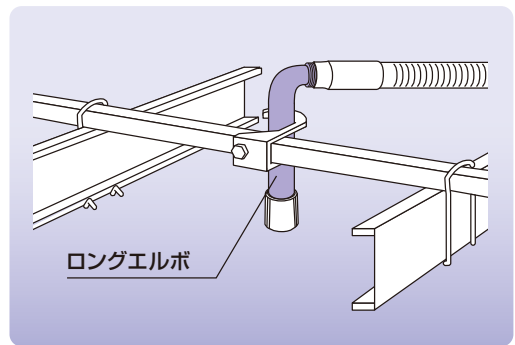
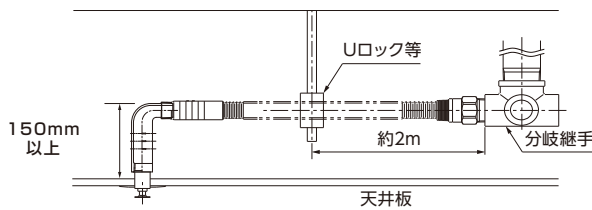
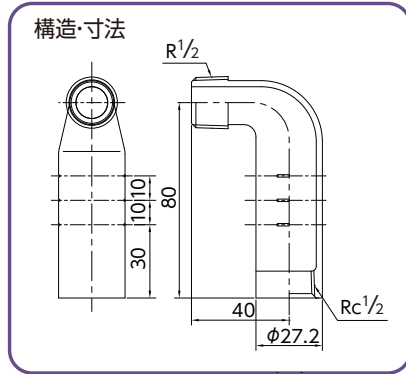
SPフレキ R01 / SPフレキ W01 /  
SP-Wフレジューサ / SP-W2フレジューサ用

## SPロングエルボ

認定番号 PJ-244号 | 15A×RC 1/2

湿式	乾式 <sup>※1</sup>	最高使用圧力 <b>1.4 MPa</b>	真空 <b>OK</b>
----	------------------	--------------------------	-----------------

※1 流水検知装置の二次側に用いる場合に適用

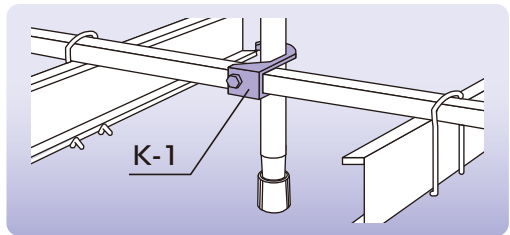


■ 全ての巻出フレキにご使用いただけます

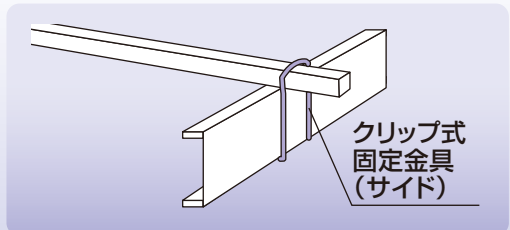
SPフレキ R01 / SPフレキ W01 / P-Wフレジューサ /  
SP-W2フレジューサ用 / SP-フレジューサ(ブレードタイプ)用

## 取付部材

固定金具(センター) | K-1 15A-20A



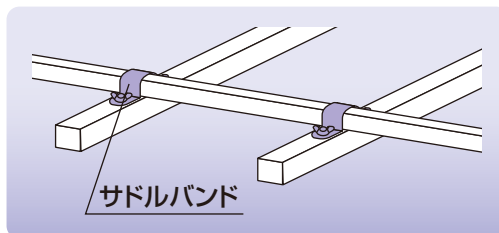
固定金具(サイド)



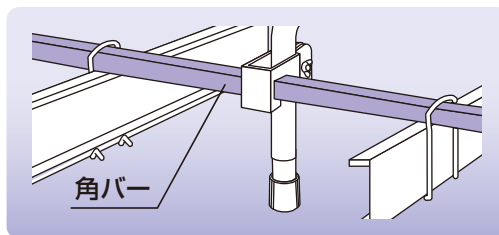
SPフレキ R01/SPフレキ W01/SP-Wフレジューサ/  
SP-W2フレジューサ用/JSP-フレジューサ(ブレードタイプ)用

## 取付部材

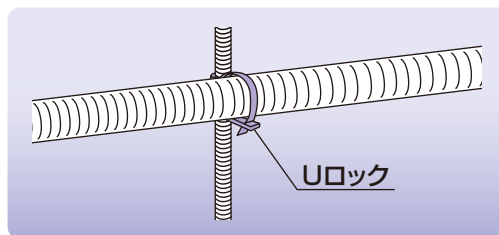
### サドルバンド



### 固定金具 角バー



### Uロック

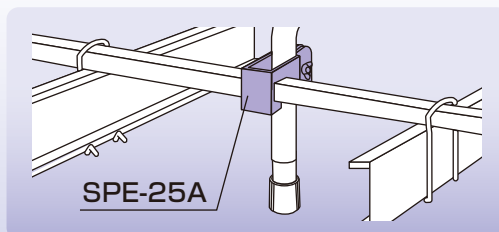


SP-フレジューサ(ブレードタイプ)用

## 取付部材

### 固定金具(センター)

SPE-25A



# 施工要領

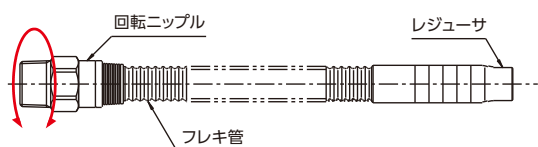
巻出し管継手の最高使用圧力は1.4MPaです。

設置環境によっては配管内の圧力が増減することがありますので、スプリンクラー設備配管の維持・管理にはご注意ください。

## SPフレキ R01

### 1. 施工前の確認事項

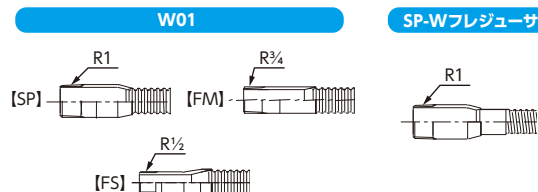
- ① 回転ニップルがスムーズに回転するか確認して下さい。
- ② 各部に使用上有害な打痕・キズ等はないか確認して下さい。



## SPフレキ W01 / SP-Wフレジューサ

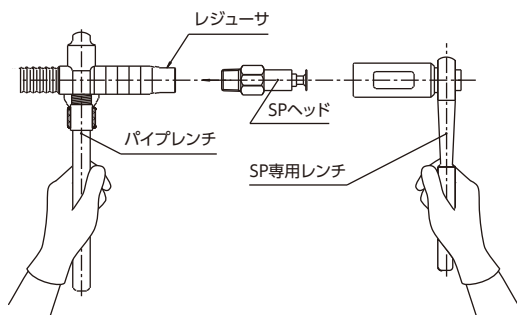
### 1. 施工前の確認事項

- ① 使用する種類(おねじ)が合っているか確認して下さい。
- ② 各部に使用上有害な打痕・キズ等はないか確認して下さい。



### 2. SPヘッドの取付

レジューサにSPヘッドを取付けます。



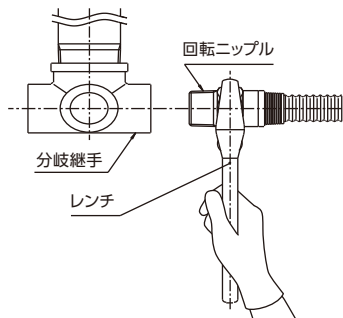
- ① SPヘッドにシールテープを巻き付ける、又はシール剤を塗布しレジューサにねじ込みます。
- ② 締付けの際は、レジューサをパイプレンチでつかみ、SPヘッド専用レンチで締付けます。

#### ⊗ 禁止事項

フレキ管をパイプレンチでつかまないで下さい。

### 3. 巻出し管継手の取付

巻出し管継手の1次側を継手に取付けます。



シールテープを巻き付ける、又はシール剤を塗布し、ニップルを枝管または分岐継手にねじ込み、ニップルをレンチでつかんで、締付ける。

商品名	R01・W01・ SP-Wフレジューサ	W01 [FM]	W01 [FS]
締付けトルク	100N・m	60N・m	40N・m

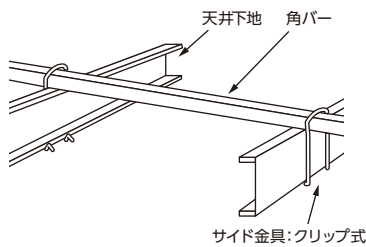
#### ⊗ 禁止事項

ニップルのねじ部・保護カバー及びフレキ管部をレンチ等でつかまないで下さい。

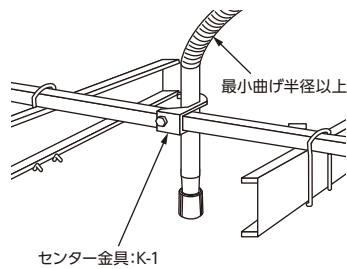
## 4. ヘッドの位置合わせと固定

ヘッド位置とレベルを合わせて専用固定金具で堅固に固定します。

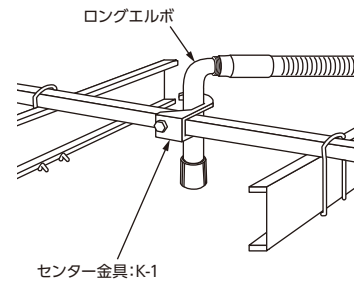
- ①天井下地に角バーを  
サイド金具で固定します。  
(推奨品:クリップ式)



- ②レジューサを  
センター金具で固定します。  
(推奨品:K-1)



- ③ロングエルボを使用した例



### ⚠ 注意事項

固定前に他工事によるフレキシ管の損傷がないか、確認して下さい。

#### SPフレキ R01

- 1) 損傷があればフレキシ管全体を取り替えて下さい。
- 2) 最小曲げ半径は中心R50mm以上で曲げて下さい。できるだけ大きく曲げて下さい。
- 3) 中心R50mm以上で曲げられない場合は、SPロングエルボ(認定番号PJ-244号)をご使用下さい。

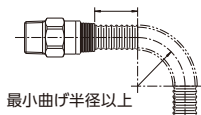
#### SPフレキ W01/JFE SP-Wフレジューサ

- 1) 損傷があればフレキシ管全体を取り替えて下さい。
- 2) 最小曲げ半径は内アール100mm以上で曲げて下さい。できるだけ大きく曲げて下さい。
- 3) 内アール100mm以上で曲げられない場合は、SPロングエルボ(認定番号PJ-244号)をご使用下さい。

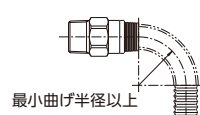
## 取扱注意事項

フレキシ管部を曲げる際、最小曲げ半径未満で曲げないで下さい。  
また、金具端部での曲げ(際曲げ)はしないで下さい。  
各端部から100mm以上の直線部を設けて、曲げるようにして下さい。

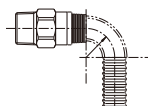
**OK** 直線部分が100mm以上  
(手で持つ範囲)



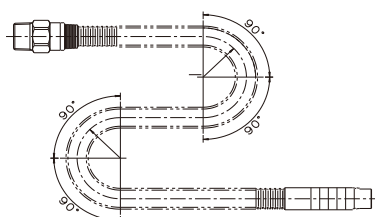
**NG** 直線部分がない



**NG** 直線部分がなく、  
曲げ半径も  
最小曲げ半径未満



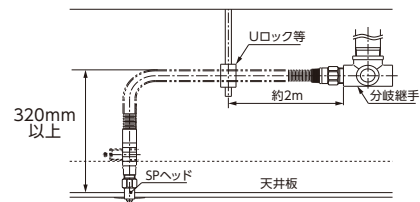
### 曲げられる角度について



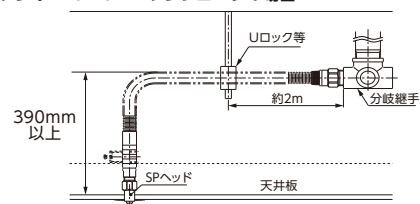
合計曲げ角度360度以内 ※R01のみ  
※W01、SP-Wフレジューサでは呼び長さにより  
合計曲げ角度が異なります

### 中間支持:呼び長さ4000Lの例

#### SPフレキ R01の場合



#### SPフレキ W01/SP-Wフレジューサの場合

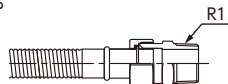


# 施工要領

## SP-W2フレジューサ

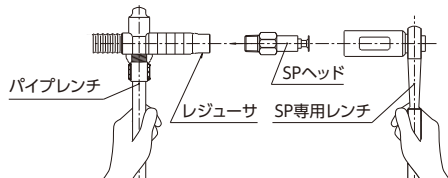
### 1. 施工前の確認事項

- ①使用する種類(おねじ)が合っているか確認して下さい。
- ②各部に使用上有害な打痕・キズ等はないか確認して下さい。



### 2. ヘッドの取付

レジューサにSPヘッドを取付けます。



- ①SPヘッドにシールテープ又はシール剤を用いてレジューサにねじ込みます。
- ②締付けの際は、レジューサをパイプレンチでつかみ、SPヘッド専用レンチで締付けます。

#### ⊘ 禁止事項

フレキ管をパイプレンチでつかまないで下さい。

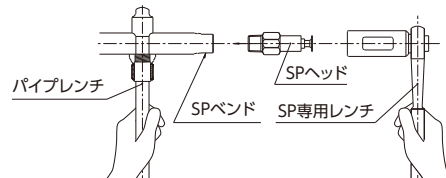
## SP-フレジューサ(ブレードタイプ)

### 1. 施工前の確認事項

- ①各部に使用上有害な打痕・キズ等はないか確認して下さい。
- ②保護キャップが外れていないか確認して下さい。

### 2. ヘッドの取付

SPバンドにSPヘッドを取付けます。



- ①SPヘッドにシールテープ又はシール剤を用いてSPバンドにねじ込みます。
- ②締付けの際は、SPバンドをパイプレンチでつかみ、SPヘッド専用レンチで締付けます。

#### ⊘ 禁止事項

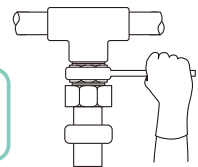
フレキ管をパイプレンチでつかまないで下さい。

### 3. 特殊ニップル(NNI)の取付

枝管取出口に特殊ニップル(NNI)を取付けます。

#### ⚠ 注意事項

クロメートメッキなので残りネジ防錆不要です。  
標準締付トルクの目安は100N・m



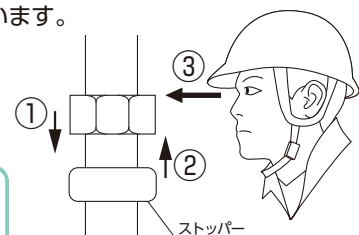
### 4. SPフレジューサの取付

袋ナットを締付けます。(SP-フレジューサの場合はニップル(NNI)側とSPバンド側の両口を締め付けます。)

- ①袋ナットをストッパーの位置まで引き寄せOリングの有無を確認し締付けを行います。
- ②袋ナットを締付けの場合、残りネジのないよう付き当たる(金属当たり)まで締め付けます。
- ③本体に残りネジがないことを目線で確認します。

#### ⚠ 注意事項

袋ナット部を締め付ける場合は、適正な工具を用いて下さい。(目安トルク値100N・m)  
その他は弊社「取扱いにあたってのご注意」をご参照下さい。

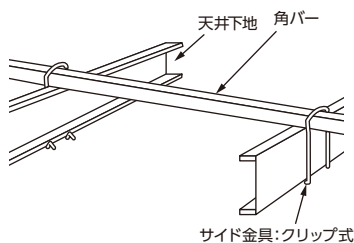




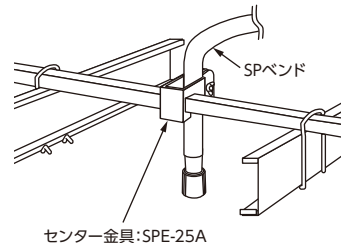
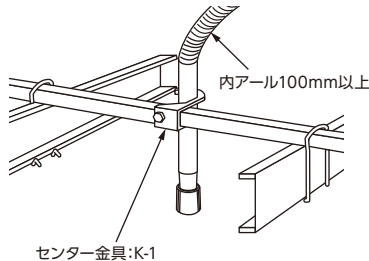
## 5. ヘッドの位置合わせと固定

ヘッド位置とレベルを合わせて専用固定金具で堅固に固定します。

- ①天井下地に角バーを  
サイド金具で固定します。  
(推奨品:クリップ式)



- ②レジューサを  
センター金具で固定します。  
(推奨品:K-1)



### ⚠ 注意事項

固定前に他工事によるフレキ管の損傷がないか、確認して下さい。

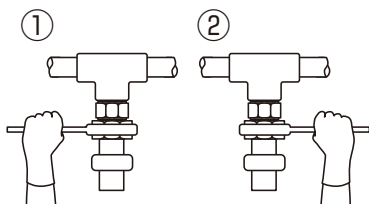
- 1) 損傷があればフレキ管全体を取り替えて下さい。
- 2) 最小曲げ半径は内アール100mm以上で曲げて下さい。できるだけ大きく曲げて下さい。
- 3) 内アール100mm以上で曲げられない場合は、SPロングエルボ(認定番号PJ-244号)をご使用下さい。\*

\*SP-レジューサにはロングエルボはご使用いただけません。

## 特記事項

### 方向調整

- ①袋ナットを緩めます。
- ②SPレジューサを所定の位置まで  
回転し位置を確認します。
- ③位置の確認が終われば  
4. SPレジューサの取付 のとおり  
袋ナットを締め付けます。

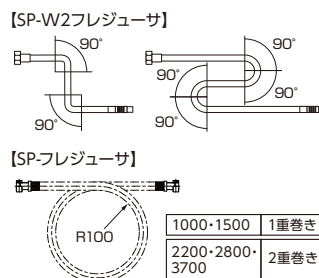


## 取扱注意事項

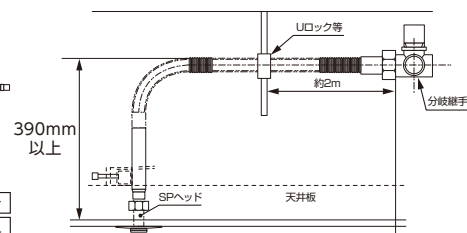
フレキ管部を曲げる際、最小曲げ半径(内アール100mm)未満で曲げないで下さい。  
また、回転ニップル及びレジューサ端部での曲げ(際曲げ)はしないで下さい。  
各端部から100mm以上の直線部を設けて、曲げるようにして下さい。



### 曲げられる角度について



### 中間支持:呼び長さ4000Lの例



## 注意事項

### 注意事項

1. 巻出し管継手は、設備の種別や配管寸法に合わせて選定して下さい。
2. 巻出し管継手に配管等の荷重が加わらないよう施工して下さい。
3. フレキ管の最大曲げ角度と曲げ箇所数は、フレキの種類により異なりますので各製品の仕様をご確認下さい。
4. 呼び長さ2200L以上は、中間支持を設けて下さい。(弊社推奨品:Uロック)
5. 乾式及び予作動式設備での水圧テスト後は水抜きを十分に行って下さい。十分な水抜きが困難な場合は、気体(空気圧など)によるテストをご検討下さい。
6. 管用ねじの接続には、シール剤を使用して下さい。
7. 溶接作業に於いて、フレキ管に溶接電気が流れないように適切なアースを取って下さい。損傷の原因となります。
8. 水圧を付加した状態で、フレキ管部を曲げないで下さい。漏れにつながる恐れがあります。水圧テスト後は、十分に減圧をしてからフレキ管を曲げて下さい。

## 禁止事項

### 禁止事項

1. 塩素成分が充満する環境での使用はしないで下さい。
2. スプリンクラー設備配管内の水を凍結させないで下さい。また、凍結の恐れがある配管部分には断熱被覆等の処置を施して下さい。
3. フレキ管部及びブレード部を、レンチでつかまないで下さい。フレキ管が損傷します。
4. フレキ管の同じ部位を6回以上繰返し、曲げないで下さい。
5. フレキ管部を曲げる際、最小曲げ半径未満で曲げないで下さい。
6. 金具端部での曲げ(際曲げ)は厳禁です。各端部から100mm以上の直線部を設けて、曲げるようにして下さい。
7. 巻出し管継手は再使用しないで下さい。施工時の屈曲履歴及びシール材(リングなど)への加圧履歴により、製品本来の性能が損なわれている恐れがあります。新しい製品をご使用下さい。
8. 巻出し管継手を踏みつけたり、落下させるなどの衝撃を与えないで下さい。
9. 巻出し管継手の近くで溶接作業をする場合は、アースに接触させないで下さい。巻出し管継手の損傷の原因となります。また、スパッタ等が付着しないよう、必ず養生して下さい。
10. フレキ管部を捻らないで下さい。水圧が加わることにより、ヘッド取付部が動く恐れがあります。
11. アラーム弁二次側水圧テストは必ず1.75MPa以下で行って下さい。





# 日本継手

- このパンフレットに記載されている内容は、製品についての情報提供を目的として作成されているため、詳細については当社(本社、営業部または各営業所)までお問い合わせの上、施工を行って下さい。
- 記載の規格・仕様等は、予告なく改訂することがありますので、ご了承下さい。
- このパンフレットに記載されている適用範囲外で製品をご使用になった場合、または当社に相談なく製品を改造して、ご使用になった場合に発生した事故等につきましては、当社では責任を負いかねますので、ご了承下さい。
- 当社の印刷物には、すべての裏表紙の右下に発行日を記しています。常にこの日付の新しいものをご覧いただくよう、お願い致します。最新の日付の確認は、当社までお問い合わせ下さい。
- パンフレット記載の規格・仕様は製品改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

お問い合わせは -----

 **日本継手株式会社**

本社・工場 大阪府岸和田市田治米町153番地の1  
〒596-0805 TEL 072(445)0285(代) FAX 072(445)0291

本社営業部 大阪府岸和田市田治米町153番地の1  
〒596-0805 TEL 072(445)6441 FAX 072(445)6013

東京営業部 東京都台東区蔵前2丁目17番4号JFE蔵前ビル3F  
〒111-0051 TEL 03(5823)1651 FAX 03(5823)1653

東北営業所 仙台市宮城野区扇町2丁目4-28  
〒983-0034 TEL 022(238)3860 FAX 022(238)3886

中部営業所 名古屋市中川区富船町4丁目1-8岡谷物流株式会社富船第2物流センター内1F  
〒454-0823 TEL 052(352)4191 FAX 052(353)5153

九州営業所 福岡市博多区西月隈3丁目2番27号  
〒812-0857 TEL 092(471)7456 FAX 092(471)1894



NPF OFFICIAL HOMEPAGE  
<https://www.nippon-pf.co.jp>

2023年5月改訂  
202305-